

令和3年度実施

白河市みらい創造総合戦略 評価書

1. 基本目標及び施策の方向性について

基本目標

I 「魅力ある雇用をつくる」

基本的方向性

地元企業の経営基盤の強化や生産性の向上に加え、企業誘致を推進することで、「相応の賃金」+「安定した雇用形態」+「やりがい」といった、質の高い雇用の創出・確保に努めます。

また、企業間連携や異業種間連携の推進、高付加価値商品の開発、事業承継の円滑化、新規創業の支援など、地域経済に新たな価値を生み出す取組を積極的に推進します。

そして、本市で暮らす全ての方、特に若者や女性が安心して働くことができる魅力ある雇用を創出します。

数 値 目 標	基準値(年度)	目標値(R6)
製造品出荷額(年間)	3,152 億円 (H29)	3,100 億円
従業者数(6月1日現在)	7,830 人 (H30)	7,800 人

基本目標

Ⅱ 「若い世代の活躍を支える」

基本的方向性

生活を支える「しごと」の確保とともに、未来を担う子どもたちが、基本的な学習や本市が持つ歴史や伝統・文化、自然、食などの魅力を学び、地域との関わりを深めることで、地域への愛着と誇りを持った人材を育み、若者の定着や回帰につなげていきます。

また、「ひと」と「ひと」の「つながり」の重要性を再認識し、多様な価値観を互いが認め、助け合い、共存できる環境を整えることで、地域の中で誰もが安心して結婚・妊娠・出産・子育てができる社会の実現を図ります。

さらに、家族構成の変化や共働きの増加など、多様化するライフスタイルに対応することで、若い世代の活躍を支えます。

数 値 目 標	基準値(年度)	目標値(R6)
年間出生数	435 人(H30)	435 人
18 歳～39 歳人口 (10 月 1 日現在)	13,797 人(R1)	13,383 人

基本目標

Ⅲ 「人と地域のつながりをつくる」

基本的方向性

「しごと」と「ひと」の創生を図るとともに、市民が主体となったまちづくりを進めることで、個性的で活気と活力に満ちた地域社会の実現を図ります。

そして、本市の知名度・認知度アップや観光振興による交流人口や関係人口の増加を図るとともに、大都市(特に首都圏)に在住する移住希望者等に対し本市の魅力を積極的に発信することで、人と地域のつながりをつくります。

数 値 目 標	基準値(年度)	目標値(R6)
現住人口 (10月1日現在)	59,739人(R1)	57,836人

2. 数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の達成状況について

【数値目標】

No	① 基本目標	② 重要業績評価指標(KPI)						③ R2年度末に おける実績値	④ R3年度末に おける実績値	⑤ R4年度末に おける実績値	⑥ R5年度末に おける実績値	⑦ R6年度末に おける実績値	⑧ 評価年度にお ける達成度 (※)	⑨ 備考
		数値目標	基準値	基準 年度	目標値	単位	目標年							
I	魅力ある雇用をつくる	① 製造品出荷額(年間)	3,152	H29	3,100	億円	R6	3,376					A	
		② 従業者数(6月1日現在)	7,830	H30	7,800	人	R6	7,842					A	
II	若い世代の活躍を支える	① 年間出生数 ※出生数は年単位	435	H30	435	人	R6	389					D	令和元年が最新
		② 18～39歳人口(10月1日現在)	13,797	R1	13,383	人	R6	13,579					A	
III	人と地域のつながりをつくる	① 現住人口(10月1日現在)	59,739	R1	57,836	人	R6	59,274					A	

※達成度…A: 目標を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の達成は5割未満

【重要業績評価指標(KPI)】

I 「魅力ある雇用をつくる」

No	① 目標	② 具体的な施策	③ 重要業績評価指標(KPI)						④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩ 備考		
			KPI			基準値	基準年度	目標値	単位	目標年	R2年度末に おける実績値	R3年度末に おける実績値	R4年度末に おける実績値	R5年度末に おける実績値		R6年度末に おける実績値	評価年度にお ける達成度 (※)
I	(1) 地域企業への支 援強化と企業誘 致の推進	① 支援機関と連携した地域内 中小企業の支援強化	① 産業サポート白河による取引 あっせん相談件数(累計)	56	H30	206	件	R6	160								
		② 新規企業の誘致の推進及び 既存企業の規模拡大に対す る支援	② 新規企業の誘致による新規雇 用者数及び既存企業の増設 による雇用者数(累計)	159	H30	309	人	R6	166								
		③ 人材育成のための各種講習 会の開催	③ スキルアップ講習会等の参加 者数(年間)	198	H30	218	人	R6	142								
	(2) 若者の地元定着 の推進	① 小中高生を対象としたキャリ ア教育	① キャリア・パスポートの作成及 び活用率	0.0	新設	100	%	R6	100.0								
		② 地元の企業情報等を発信す る仕組みの構築	② しらかわ企業データベースの 閲覧数(年間)	165,798	H30	181,500	件	R6	512,671								
		③ 地元企業インターンシップ事 業等の実施	③ インターンシップ等実施企業数 (年間)	47	H30	53	社	R6	75								
		④ UIJターン希望者への就職活 動支援	④ 白河UIターンLINEアカウントの 登録者(累計)	180	R1	1,080	人	R6	322								
	(3) 白河の強みを発 揮した新たな産 業の創出	① 企業のグループ化や新商品 等の開発、新分野への参入 支援	① 企業間・異業種間連携による 新商品等開発件数(累計)	0	H30	5	件	R6	1								
		② 知的財産の活用支援	② 知的財産・特許権等取得の支 援件数(累計)	0	H30	2	件	R6	0								
		③ 新規創業・起業に対する切れ 目のない支援体制の構築	③ 各種創業支援事業による創業 件数(累計)	8	H30	18	件	R6	16								
	(4) 農業の魅力向上 による雇用の場 の創出	① 基幹的農業従事者・集落営 農組織の法人化への支援や 農業法人誘致の推進	① 農業法人数(累計)	24	H30	27	法人	R6	24								
		② 若者や女性、UIJターン希望 者の就農支援	② 新規就農者数(累計)	3	H30	21	人	R6	8								
③ 農畜産物の6次産業化の取 組への支援		③ 支援制度を活用した6次産業 化商品数(累計)	3	H30	21	件	R6	11									

II 「若い世代の活躍を支える」

No	① 目標	② 具体的な施策	③ 重要業績評価指標 (KPI)						⑥ R2年度末における実績値	⑦ R3年度末における実績値	⑧ R4年度末における実績値	⑨ R5年度末における実績値	⑩ R6年度末における実績値	⑪ 評価年度における達成度(※)	⑫ 備考	
			KPI		基準値	基準年度	目標値	単位								目標年
			①	②												
II	(1) ニーズを捉えた婚活支援	① 出逢いふれあい事業の充実・発展	① 出逢いの場創出事業の参加者数(年間)	242	H30	270	人	R6	0							コロナ感染拡大防止のため、全イベントを中止した。
		② 婚活支援体制の充実	② 婚活支援者数(累計)	9	R1	14	人	R6	0							
	(2) 出産・子育てしやすい環境の整備	① 出産・子育てに関する相談体制の強化	① 白河っ子応援センターの利用者数(年間)	1,254	H30	1,200	人	R6	1,197							
		② 出産・子育てに関する正しい知識等の普及啓発	② 子育てに関する講座への参加者数	235	H30	230	人	R6	163							
			② 子育て支援アプリ登録者数(累計)	1,419	H30	3,220	人	R6	2,013							
		③ 地域社会全体での子育て支援環境の充実	③ 地域子育て支援拠点の利用者数(年間)	14,803	H30	14,736	人	R6	12,138							
			③ 男女共同参画講演会等の参加者数(年間)	42	R1	130	人	R6	25							
		④ 保育サービス等の充実による子育て世帯の就労支援	④ ワーク・ライフ・バランスを推進する企業数(累計)	1	H30	6	社	R6	8							
	(3) 社会を生き抜く力を育む教育の充実	① 図書館の有効活用による読書活動の推進	① 学校図書貸出冊数(小学校)	119,782	H30	120,000	冊	R6	166,461							
			① 学校図書貸出冊数(中学校)	3,671	H30	15,000	冊	R6	12,578							
		② 確かな学力の向上	② 全国学力・学習調査の正答率(全国平均を上回った教科)(小学校):国語、算数、理科 ※理科は3年ごとの実施	1	R1		全	教科	R6	コロナ禍のため実施なし						
			② 全国学力・学習調査の正答率(全国平均を上回った教科)(中学校):国語、数学、理科、英語 ※理科、英語は3年ごとの実施	1	R1		全	教科	R6	コロナ禍のため実施なし						
		③ 子どもを健全に育むスポーツの振興	③ 白河市スポーツ少年団の団員数	856	H30	780	名	R6	533							
			③ スポーツ教室の参加者(小学生)(年間)	6,060	H30	5,500	名	R6	180							
		④ 地域への愛着と誇りを育む教育の推進	④ 児童生徒へのアンケート結果の割合(小学校6年) ①自市の歴史や文化に関することをもっと知りたい、聞きたい ②ふるさと自市のすばらしさを感じるようになった	①77% ②89%	H27		①80 ②90	%以上	R6	① コロナ禍のためアンケートの実施見送り(※は実施予定) ②						
			④ 児童生徒へのアンケート結果の割合(中学校3年) ①自市の歴史や文化に関することをもっと知りたい、聞きたい ②ふるさと自市のすばらしさを感じるようになった	①84% ②88%	H27		%以上	R6	① コロナ禍のためアンケートの実施見送り(※は実施予定) ②							
		⑤ 文化・芸術活動の奨励	⑤ 文化団体に所属している児童・生徒数(累計)	58	H31	358	人	R6	63							

Ⅲ 「人と地域のつながりをつくる」

No	① 目標	② 具体的な施策	③ 重要業績評価指標(KPI)						⑥ R2年度末における実績値	⑦ R3年度末における実績値	⑧ R4年度末における実績値	⑨ R5年度末における実績値	⑩ R6年度末における実績値	⑪ 評価年度における達成度(%)	⑫ 備考
			KPI	基準値	基準年度	目標値	単位	目標年							
Ⅲ	(1) 地域資源を活用した観光の振興	① 着地型観光の推進	① 観光入込客数(主要観光施設)	885,260	H30	950,000	人	R6	635,005						
		② インバウンドの推進	② 外国人観光客数(年間)	1,479	H30	4,500	人	R6	441						
		③ 観光プロモーションの実施等による効果的な情報発信	③ 公式インスタグラムのフォロワー数(累計)	230	R1	1,750	人	R6	1,426						
	(2) 移住・定住の促進	① 移住・定住支援制度の充実	① 支援制度を利用した移住・定住者数(累計)	72	H30	572	人	R6	123						
		② 地域資源を生かした滞在型の交流・体験活動の推進	② 交流・体験活動の参加者数(累計)	20	R1	95	人	R6	27						
	(3) 戦略的なシティブロモーションの展開	① わかりやすい広報紙の作成やホームページの内容の充実	① ホームページの閲覧数(年間)	2,880,000	R1	2,970,000	件	R6	4,387,247						
		② 市民や観光客などが情報発信主体となる仕組みの構築	② 公式SNSのファン数(累計)	2,806	R1	2,900	人	R6	3,358						
		③ 新聞社やテレビ局へのプレスリリースの充実	③ プレスリリース数(年間)	295	H30	325	件	R6	314						
	(4) 市民協働の推進と外部人材の積極的活用	① NPO等民間が行う地域課題解決への支援	① 補助金等による支援件数(累計)	14	H30	104	件	R6	9						
		② 若者の地域活動への参画推進	② コミュニティスペースの学生会員数(累計)	1,261	H30	2,500	人	R6	1,917						
		③ 外部人材の積極的活用	③ 外部人材の受入件数(累計)	5	H30	12	人	R6	1						
		④ 白河のファン(関係人口)の獲得	④ 公式SNSのファン数(累計)【再掲】	2,806	R1	2,900	人	R6	3,358						
	(5) 誰もが活躍できる地域社会の実現	① 誰もが利用できる相談体制や居場所の整備	① 誰もが利用できる居場所の数	0	H30	1	件	R6	0						
		② 健康づくりの意識の向上と健康寿命の延伸	② 生活習慣病予防健診の受診率	43.8	H30	60.0	%	R6	31.7						

3. 具体的な施策に対する評価について

I 「魅力ある雇用をつくる」

No	① 目 標	② 具体的な施策	③ 関 連 事 業	④ 評価年度におけるKPI達成度	⑤ 評 価
I	(1) 地域企業への 支援強化と企業誘致の推進	① 支援機関と連携した地域内中小企業の支援強化	<ul style="list-style-type: none"> 産業サポート白河との連携によるきめ細やかな経営相談 中小企業の基盤強化のための資金的支援(信用保証料の補助や利子補給等) 新規事業開拓や販路拡大のための見本市等への出展支援 就労環境の向上に関するセミナー等の開催 	B	<ul style="list-style-type: none"> 産業サポート白河が県南地域の企業訪問や企業と関係機関とのネットワークの形成支援等を行い、企業の課題解決や製品開発から販売までのトータルサポートを実施したため、中小企業の経営強化を図ることができた。 KPIは順調に推移していると考えられるため、今後も継続して企業支援を実施していく。
		② 新規企業の誘致の推進及び既存企業の規模拡大に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> 新規企業等への立地意向調査の実施 既存企業の増設計画支援 市内工業団地等への企業誘致 企業立地促進のための奨励金制度による支援 	C	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問等を実施(交通の便が良いことなどのPRなど)したことにより、新規企業の誘致や既存企業の増設につなげることができ、新規雇用者数を増やすことができた。 KPIは順調に推移していると考えられるため、今後も継続して企業訪問、誘致活動を実施していく。
		③ 人材育成のための各種講習会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり技術講習会の開催 若手経営者育成事業の開催 AI・IoT人材育成事業の開催 大学等と連携した人材育成 事業承継に関するセミナー等の実施支援 	C	<ul style="list-style-type: none"> 左記に掲げる充実した各種人材育成講座を開催することにより、各人のスキルアップを図ることができた。 KPIは順調に推移していると考えられるため、今後も継続したサポートを実施していく。
	(2) 若者の地元定着の推進	① 小中高生を対象としたキャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 職業体験や職場体験の実施 キャリア・パスポートの活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> 全ての小中学校においてキャリアパスポートが作成され、学びの記録を蓄積した。小学校から中学校に引き継がれるため、中学校区ごとに作成の仕方や活用について共通理解を図っている。 中学校においては、例年職場体験を実施しているが、コロナ禍により実施できなかったケースもあった。今後は、状況を見ながら、リモートでの実施など実施方法を工夫していく。
	② 地元の企業情報等を発信する仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> 産業サポート白河のホームページの充実 SNS等を活用した情報発信 白河企業データベースを活用した情報発信 地域版就職情報冊子等の作成・配布 	A	<ul style="list-style-type: none"> しらかわの企業データベースを充実させたことから閲覧数が増加し、地元企業を知ってもらいきっかけとなった。今後も新規企業のデータベースを充実させていく。 KPIは目標に対し、大幅に達成しているため、目標値の修正を検討する。 	
	③ 地元企業インターンシップ事業等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 就職セミナーやインターンシップの情報発信 インターンシップ実施の推進 就職を希望する高校生等を対象とした地元企業の展示交流会の開催 	A	<ul style="list-style-type: none"> UIJターン促進のため、インターンシップ受け入れ企業の拡大や学生と企業の交流促進に努めたことから、インターンシップ受け入れ企業数は増加し、KPIの増加にも大きく寄与したと考えられる。 KPIは順調に推移していると考えられるため、今後も学生と企業の交流促進に努める。 	
	④ UIJターン希望者への就職活動支援	<ul style="list-style-type: none"> SNS等を活用したUIJターン希望者への情報発信 UIJターン希望者への交通費の補助 	D	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業の採用情報や交通費補助の周知を行った。また、市内企業の採用情報誌を作成・配布するとともに、LINEによる情報発信を行い、市内企業の魅力発信に努めた。 KPIが大幅に増加することはなかったため、制度が浸透されるよう継続して広報等を実施する必要がある。 	

※達成度…A: 目標を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の達成は5割未満

①	②	③	④	⑤	
目標	具体的な施策	関連事業	評価年度におけるKPI達成度	評価	
(3)	白河の強みを発揮した新たな産業の創出	① 企業のグループ化や新商品等の開発、新分野への参入支援	<ul style="list-style-type: none"> ・企業間を連携するための支援 ・産学官連携によるネットワークの形成 ・事業継承を機会に第二創業するために必要となる経費の一部を支援 	D	<ul style="list-style-type: none"> ・産業サポート白河がものづくり企業の経営課題に対し、きめ細やかな伴走型支援を行うことにより、地域の資源や産業の強みを活かしたものづくりの高度化や海外展開を促進し、しらかわ地域の企業の経営基盤の強化を図った。 ・KPIは順調に推移しており、今後も企業間のマッチングを進めていく。
		② 知的財産の活用支援	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産の必要性や活用法に関するセミナー等の実施 ・知的財産に関する支援機関と連携した企業への支援 	D	<ul style="list-style-type: none"> ・県、産業サポート白河と連携しながら知的財産の活用を促進するため企業訪問を行ったが、知的財産の取得までは繋がらなかった。 ・令和3年3月に日本弁理士会と連携協定を締結したことから、今後セミナーや専門家による伴走型支援を行い、地元企業の知的財産活用の意識醸成を図っていく。
		③ 新規創業・起業に対する切れ目のない支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・起業に関する必要な知見を身に付ける講座等の開催 ・創業・起業に対する各種融資制度における信用保証料等の支援 ・創業・起業に対する場所の提供及び伴走型支援 ・テレワーク等の導入推進支援 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・市内での創業を促進するため、コワーキングスペースを提供するとともに、伴走型で支援する環境を整えた。それにより市内での創業の機運が醸成され、KPIの増加に寄与したと考えられる。 ・今後も引き続き各種創業支援事業を行い、次年度以降の創業者の増加に繋げていきたい。
(4)	農業の魅力向上による雇用の場の創出	① 基幹的農業従事者・集落営農組織の法人化への支援や農業法人誘致の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大を図る事業者等に対する営農継続のための支援 ・農業法人参入のための総合的な支援 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・農業法人の誘致について、当該法人、地権者組合、市による三者協定を締結するとともに、市が事業主体となって農地造成を行い、参入に向けた支援を行った。これにより、地域の担い手や雇用の受け皿など、地域農業への様々な波及効果が期待できる。
		② 若者や女性、UJターン希望者の就農支援	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等における農業の魅力発信や農業体験事業の開催 ・新規就農者への相談体制の充実 ・新規就農者の経営安定及び施設・機械等への資金的補助 	D	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でありながらも、首都圏における就農フェアにオンラインで出展したほか、収穫を体験するツアーを実施し、本市における農業について魅力を発信した。 ・人・農地相談センターと連携して新規就農者の相談に応じるとともに、新規就農者向けの補助金を交付し、経営が軌道に乗るよう支援した。 ・KPIは目標にやや届いていないが、これまでの取組みにより、農業の新たな担い手の確保に効果を発揮しており、今後も継続して取り組むこととする。
		③ 農畜産物の6次産業化の取組への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業に係る研修会等の開催 ・新商品の事業化及び販路拡大に係る支援 ・生活・交流拠点施設等における6次化商品の販路確保 	D	<ul style="list-style-type: none"> ・県南地方市町村地域産業6次化推進協議会の事業として、農業6次産業化をテーマにしたセミナーを3回にわたり開催し、新たな事業に向けた知見を得る機会を提供した。 ・補助金により新商品の開発、事業化を支援し、5品目が新たに開発された。さらに、平成22年から実施してきた「白河市農産物ブランド」について、販路拡大等の課題を踏まえて制度を見直し、令和3年度から新たに「農産物ブランド白河しるもの」として事業展開していくこととした。 ・KPIは概ね順調に推移しており、今後も本市の農畜産物のブランド化や販路拡大に向けた機会の提供に一層取り組むこととする。

※達成度…A: 目標を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の達成は5割未満

II 「若い世代の活躍を支える」

No	① 目 標	② 具体的な施策	③ 関 連 事 業	④ 評価年度にお けるKPI達成度	⑤ 評 価
II	(1) ニーズを捉え た婚活支援	① 出逢いふれあい事業の充実・ 発展	・出逢いの場の提供 ・結婚意識形成セミナー等の開催	-	・令和2年度は小規模イベントを4回、大規模イベントを1回、観光宿泊型イベントを1回予定していたが、コロナ禍ですべての事業が中止となった。 ・令和3年度は、コロナ禍でも確実に実施できるよう、オンライン形式によるセミナー及びイベントを実施する予定である。
		② 婚活支援体制の充実	・結婚に対する相談を受けられる人材の育成	C	・世話やきき希望者及び独身者の親を対象に、「世話やき人育成セミナー&登録会」を1回予定していたが、コロナ禍により事業が中止となった。 ・令和3年度にも実施する予定だが、対象者は中高年層を見込んでいるため、オンラインによる開催ではなく対面イベントとなると考えられ、引き続き、コロナの感染状況を注視した上で開催を検討する。
	(2) 出産・子育て しやすい環境 の整備	① 出産・子育てに関する相談体 制の強化	・白河っ子応援センターの相談体制の充実 ・訪問型の子育て支援の実施 ・宿泊や日帰りによる産後ケアの実施	B	・センターでは窓口相談や電話相談等、専門職が対応するように努め、必要時、関係機関と連携し相談体制の充実を図った。 ・妊娠前から切れ目ない子育て支援として、産後1年未満の母子を対象に産後ケア事業等を実施し、コロナ禍で里帰りできない妊産婦等、対象者に寄り添った支援を実施した。 ・引き続き、子育て中の親が孤独感や不安感を抱くことがないよう、相談できる体制の充実に努める。
		② 出産・子育てに関する正しい知 識等の普及啓発	・子育てに関する講座等の開催 ・子育て支援ガイドブックの作成 ・子育て支援アプリによる迅速な情報発信 ・乳幼児の発達の節目における健診の実施	B C	・離乳食相談会はコロナの影響で開催回数が減ったが電話相談等に対応し、子育て教室は動画配信に変更して実施した。乳幼児健診はコロナの影響で一部中止したが、その後、対象月齢を変更して全員に健診を実施し、異常の早期発見、保健指導に努めた。 ・市の子育て支援の取組や子育てサロン、遊び場等の情報を迅速に分かりやすく提供するため、スマートフォン向けの子育て支援アプリを活用し情報発信を行った。 ・妊婦や転入者向けには、市の子育てに関する様々な情報を掲載した子育てガイドブックを作成・配布した。子育て支援アプリの登録者は、増加傾向にあり、とても参考になった等の意見が寄せられていることから、引き続き迅速な情報発信に努めるとともに、登録者数の増加を図るための周知を行っていく。

※達成度…A: 目標を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の達成は5割未満

No	① 目 標	② 具体的な施策	③ 関 連 事 業	④ 評価年度にお けるKPI達成度	⑤ 評 価
II (2)	出産・子育て しやすい環境 の整備	③ 地域社会全体での子育て支援 環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポート事業の実施 ・地域子育て支援拠点事業の実施 ・男性の育児参加を促すセミナー等の開催 ・子育て世帯の負担に対する経済的支援 ・男女共同参画セミナーの開催 ・企業へのワーク・ライフ・バランス推進に対する支援 	B D A	<ul style="list-style-type: none"> ・育児の援助が欲しい方と援助ができる方が会員となり、地域の中で会員同士が互いに助け合う活動を支援するファミリーサポート事業では、子育てしやすい環境の整備に努めた(NPO法人へ事業委託)。双方の会員は、増加しているが、特に援助ができる会員の増加を図る必要があるため、様々な機会を活用し事業を周知していく。 ・主に0歳～3歳の乳幼児を持つ親と子が気軽に集い、語り合い、交流を図る場を開設し、子育てについての相談や子育て情報の提供を行うことで、子育て支援機能の充実を図った(NPO法人へ委託)。その結果、育児不安の解消や母親同士の交流や仲間づくりにつながっている。令和2年度は、コロナの影響により2か月間臨時休業したが、予約制にしたり、感染予防対策を小まめに行う工夫をして開催することで、参加者は順調に推移している。今後も感染予防対策を継続するとともに、安心して参加できるよう工夫し、事業の継続や周知を図っていく。 ・保護者の経済的な負担を軽減することで安心して子育てが出来る環境を整えるため、0歳児と1歳児の保護者を対象に年額3万円の赤ちゃんクーポンを交付している。今後は、交付対象を拡充するなど子育て支援の更なる充実を図っていく。 ・男女共同参画セミナーについては、コロナ感染拡大防止のため、講演会や講座の開催数を減らしたが、引き続き男女共同参画社会実現の推進を図っていく。 ・家庭と仕事を両立しやすい就業形態等への改善を進めるため、福島県次世代育成支援企業認証制度について、広報誌やHPを使い、広くPRを行った。市内企業からの積極的な申請もあり認証企業は増加した。今後も継続して広く広報を行い、認証企業の増加に努めていく。
		④ 保育サービス等の充実による 子育て世帯の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園等の新設・増設等 ・保育士等の確保 ・児童クラブ等の受け入れ拡大 ・病児保育の実施 		A

※達成度…A: 目標を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の達成は5割未満

No	① 目標	② 具体的な施策	③ 関連事業	④ 評価年度におけるKPI達成度	⑤ 評価
II (3)	社会を生き抜く力を育む教育の充実	① 図書館の有効活用による読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館の図書 の 充実 ・市立図書館と連携した学校図書館の充実 ・学校図書館における司書の配置 	A B	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全ての小中学校に学校司書の配置が完了するなど、学校図書館の環境整備が進んでいる。学校司書や学校図書館担当教諭、学級担任などが連携し、児童・生徒が読書の楽しさを実感できる機会の提供を図っている。 ・市立図書館からの図書貸し出しや移動図書館など、市立図書館との連携も図られ、読書環境の整備も進められている。 ・今後も引き続き同様の取り組みを実施していく。
		② 確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた学習指導の実施 ・外国人英語指導助手による国際理解教育の実施 ・ICT教育環境の整備 ・ICT専門支援員による情報化社会対応のための教育の実施 ・土曜学習の実施 ・特別支援教育支援員による学習指導の実施 		-
		③ 子どもを健全に育むスポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生が各種大会等への参加する際の経済的支援 ・スポーツ団体に対する支援 ・スポーツに関する講演会等の実施 	C D	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、スポーツを楽しむ機会の提供が減ってしまった。また、各種大会等の中止や延期によりスポーツ団体の団員数が減少してしまったと考えられる。 ・コロナの状況を見ながら、スポーツ活動ができる機会の提供をすることにより、スポーツの振興を図っていく。
		④ 地域への愛着と誇りを育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・白河の歴史文化の知識を学ぶ授業の実施 ・歴史教科書「れきしら」の活用 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校において、史跡の見学や歴史に関する出前授業などを実施した。コロナ禍により、一部実施できないものがあったが、今後も実施方法を工夫しながら継続していく。 ・歴史文化再発見事業や、社会科の学習で「れきしら」の活用を図っている。 ・今後も、地域への愛着と誇りを育む教育の推進を進めていく。
		⑤ 文化・芸術活動の奨励	<ul style="list-style-type: none"> ・コミネスと連携した文化活動の実施 ・文化活動を行う団体等への補助 ・音楽・芸術等の発表に関する場の提供 	D	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、音楽の祭典や芸能発表会、芸術祭、俳句賞といった各種事業は、感染症対策を講じながら開催した。また、コミネスと連携しながら、ドライブ・イン・シアターやクラシックコンサートなどの催しを開催するとともに、施設の改修を実施した。 ・コロナ禍により、各文化団体独自の活動は停滞がみられるが、開催した事業においては来場者や参加者も想定以上であり、一定の成果があがっている。 ・今後も引き続きコミネスと連携しながら、鑑賞や発表の機会を創出するとともに、文化団体の活動の活性化を図っていく。

※達成度…A: 目標を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の達成は5割未満

Ⅲ 「人と地域のつながりをつくる」

No	① 目 標	② 具体的な施策	③ 関 連 事 業	④ 評価年度におけるKPI達成度	⑤ 評 価
Ⅲ	(1) 地域資源を活用した観光の振興	① 着地型観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・白河観光物産協会と連携した、観光情報の発信強化や観光ルートの開発 ・観光施設への公共Wi-Fiの整備 ・フィルムコミッションによる誘客 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルムコミッションにおいては、白河駅を舞台としたダイハツのCMが撮影・放送されたことにより、白河駅が全国的に認知され、撮影場所を探す観光客が訪れるなど誘客に寄与した。 ・公共Wi-Fiについては、主要な観光地等(11地点)に設置されており、観光客等に活用されている。 ・今後も白河観光物産協会と連携し、SNSを活用した観光情報の発信など、アフターコロナの誘客に向けPRしていく。
		② インバウンドの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア圏をターゲットとしたPR活動の実施 ・モニターツアー等の実施 ・観光に関する多言語化した情報発信 	D	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも三密を回避して楽しめる屋外スポーツとして注目されている「ゴルフ」に着目し、インフルエンサーを招聘して、Youtubeで動画配信した。 ・渡航制限の中で、訪日外国人の来訪は確認できなかったが、アフターコロナを見据え、台湾旅行代理店にPRするなど、効果的に魅力発信を実施した。
		③ 観光プロモーションの実施等による効果的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等大都市に対する観光PRの実施 ・地域イベント情報の積極的発信 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏でのPRはコロナ禍で実施できなかったが、県内の各施設においてPRを実施した。 ・今後はアフターコロナを見据え、白河市だけでなく隣接する栃木県那須町や県南地域と連携を図りながら、本市の魅力発信に努め、誘客に繋げていく。
	(2) 移住・定住の促進	① 移住・定住支援制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住に対する相談体制の整備 ・空き家バンク等による住宅情報の発信 ・移住者に対する経済的支援 ・地域生活情報の発信強化 	D	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住に関する支援策や本市の暮らしやすさを発信するポータルサイトを制作した。 ・移住検討者をサポートする移住コーディネーターの設置や、移住時の引越に係る費用を補助する引越支援事業補助金を創設した。このため、前年に比べ支援策を利用した方が増加し、KPIの実績も順調に推移している。 ・今後ポータルサイトの充実を図るなど、情報発信の強化と移住者支援を継続していく。
		② 地域資源を生かした滞在型の交流・体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO等移住支援組織と連携した、滞在型活動の開催 ・体験型農業の開催 	D	<ul style="list-style-type: none"> ・白河を舞台に大学のゼミ等が研究をする場合の補助事業を創設したが、コロナの影響により、都道府県間の移動制限等があり、当該補助金を利用した活動団体が少なかった。今後も大学ゼミ等の来白を促し、その活動を通して白河のファン(関係人口)を増やすとともに、地域課題の解決、学生と地域、特に高校生との交流や、白河の魅力の発掘、情報発信等を支援していく。

※達成度…A: 目標を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の達成は5割未満

No	① 目 標	② 具体的な施策	③ 関 連 事 業	④ 評価年度にお けるKPI達成度	⑤ 評 価
III	(3) 戦略的なシ ティプロモー ションの展開	① わかりやすい広報紙の作成及びホームページの内容の充実	・広報誌の内容の充実 ・市政情報のホームページへの掲載	A	・限られた紙面のなかで、読みやすい、分かりやすい広報紙を作成するとともに、市政情報を迅速にホームページに掲載できるよう努めてきた。また、閲覧者からのアンケートをもとに随時、ページ内容に修正を加えてきた。 ・KPIに関しては、目標を大きく上回っているため、目標について上方修正を行うこととした。
		② 市民や観光客などが情報発信主体となる仕組みの構築	・シティプロモーションに関する情報の共有化 ・公式SNSを活用した各種情報の定期的発信	A	・プレスリリースと同時に公式SNSでも各種情報の発信を行ってきたが、市民や観光客が情報発信の主体となる仕組みについては、構築できていない。 ・公式SNSの認知度が上昇しており、登録者も順調に増えているため、KPIの目標について、上方修正を行うこととした。また、市民が情報発信していくような仕掛けについても検討していく。
		③ 新聞社やテレビ局へのプレスリリースの充実	・各課による事業開催等におけるプレスリリースの実施	B	・プレスリリースを行いやすいよう、共通の記者発表の様式を作成するとともに、随時修正を加えた。 ・KPIの目標には達していないが、イベント等が少ないコロナ禍においてプレスリリースを行うことが出来たため、今後も継続して実施していく。
	(4) 市民協働の推 進と外部人材 の積極的活用	① NPO等民間が行う地域課題解決への支援	・市民やNPO等民間が行う課題解決事業への支援 ・市内の活性化に繋がる事業への支援	D	・地域の活力向上や課題解決を図るべく、地域の特性を活かした自発的な取り組みに補助金を交付しているが、コロナの影響により、事業ができなかった団体があった。 ・次年度は、更なる支援制度のPRを図るとともに、特に地元高校生が考える自発的で活性化に繋がる事業に対して支援していく。
		② 若者の地域活動への参画推進	・若者の集う場の提供 ・若者の集う場の活動支援 ・若者が行う活性化事業への支援	B	・コミュニティスペース(エマゾン)は、高校生をはじめとする若者が集える場所としての認知度も上がり、学生会員数は増えている。 ・今後もコミュニティスペースを活用した各種イベント等を開催するとともに、高校生をはじめとする若者の自主的な活動を支援していく。
		③ 外部人材の積極的活用	・地域おこし協力隊の募集 ・地域おこし協力隊の活動支援 ・企業人材の活用	C	・イベント参加や市HP等での地域おこし協力隊募集活動を継続して行い、新たに1名の地域おこし協力隊が着任することとなった。また、令和3年度に活動が終了する隊員について、起業・定着のサポートを行い、定住に結び付けることができた。 ・KPIについては順調に推移しているため、今後も継続して協力隊募集活動及び活動支援を行っていく。
		④ 白河のファン(関係人口)の獲得	・公式SNSを活用した各種情報の定期的発信【再掲】 ・ふるさと納税の充実	A	・本市の魅力を伝える取り組みとして、小峰城の石垣修復にふるさと納税が役立てられたエピソードをYouTubeで発信したほか、寄附の入り口(サイト)を増加させた(JRE MALL)。その結果、寄附額・寄附件数ともに前年度を上回った。 ・今後もふるさと納税制度を活用し、本市をPRを行いファンを増やしていく。

※達成度…A: 目標を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の達成は5割未満

No	① 目 標	② 具体的な施策	③ 関 連 事 業	④ 評価年度におけるKPI達成度	⑤ 評 価
Ⅲ (5)	誰もが活躍できる地域社会の実現	① 誰もが利用できる相談体制や居場所の整備	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが相談できる体制の整備 誰もが利用できる居場所の整備 公民館機能の充実 	D	<ul style="list-style-type: none"> 地域で生活する高齢者や障がい者(児)、経済的な自立が困難な方、様々な問題でひきこもり状態にある方など、地域福祉に関する各般の問題につき官民が協力・連携し、市福祉事務所の窓口をはじめ、社会福祉協議会、地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、ひきこもり相談支援センター等の相談窓口において、当事者や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、権利擁護のために必要な援助等を行った。 県南9市町村による広域的な消費者相談窓口として「白河地域消費生活センター」を設置し、「商品やサービスに関する契約」や「悪質商法による消費者被害」等、消費トラブルの相談受付を実施した。 KPIについては、目標年度に居場所の整備ができるよう、引き続き事業を継続していく。
		② 健康づくりの意識の向上と健康寿命の延伸	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙・減塩等健康に関するプロジェクトの推進 健康づくりへの意識向上に対する支援 民間企業と連携した、健康づくり事業の実施 		C

※達成度…A: 目標を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の達成は5割未満

4. 委員からの意見について

基本目標	委員意見
<p>I 魅力ある雇用をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチャー企業が地域経済をリードする事例も出てきていることから、住民(特に若者)自らが起業にチャレンジできる環境の提供が必要ではないか。 ・県外で就職した方は、市との関係が希薄になってしまう可能性があることから、県外に転出した方に対して、絶えず情報が届くような仕組みづくりはどうか。 ・労働人口が減少することから、海外からの技術者、技能実習生の受け入れ態勢の充実をすべき。 ・Uターン就職につなげるため、小中学生の段階で、大学卒業後や大都市でのキャリアを経た後に、地方でどのような仕事ができるのか具体的なイメージをもってもらいつつ、しらかわエリアのものづくりの魅力を伝え、地元への誇りを醸成することが必要ではないか。 ・現実的にはハードルは高いが、大企業の本社機能や研究開発機関の誘致に力を入れてはどうか。 ・若い世代が活躍するには、起業しやすい環境を作り出すことが必要ではないか。特に白河市が起業・創業にやさしい都市であるということが認知されることも必要ではないか。(マスコミや SNS を活用したイメージ戦略) ・地元企業の情報が市民にあまり知られていないのではないか。(PR の充実) ・小中学校の職場体験の充実をしてはどうか。 ・企業と若者の結びつきの強化へ、県南地域全体で連携した取り組みをしてはどうか。 ・各種専門学校の誘致をしてはどうか。

基本目標	委員意見
<p>II 若い世代の活躍を支える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化のみならず、周辺の産業(企業)や風土に関心を持ってもらえる地域の魅力再発見のようなものを行ってみてはどうか。 ・スポーツ教室の開催等により、プロスポーツ選手との交流、触れ合いの場を設けてはどうか。 ・スポーツを通じた交流人口の増加を目指してはどうか。(施設の充実) ・移住・定住者、新婚支援事業の強化(家賃補助、空き家対策との連携等)を図るとともに、全児童生徒の学校給食の無償化をしてはどうか。

基本目標	委員意見
<p>Ⅲ 人と地域のつながりをつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源のブラッシュアップのみならず、観光コース(半日コース、1日コースなど)を作り、その情報提供が必要ではないか。 ・関係人口の増加に関し、白河の魅力発信が必要であることから、高校生などに SNS を活用した情報発信をしてもらい、優秀なものを顕彰する仕組みを作ってはどうか。 ・KPI の達成状況が芳しくないことから、既存事業の振り返りと、新たな視点での取組の検討が必要ではないか。また、コロナ禍で多様化した移住ニーズへ対応するための具体的な施策の検討・実施が必要ではないか。 ・大学卒業後など20代の前半にいかにより多くの若者が戻ってくるか否かは、18歳までに地元愛をいかに持たせるかが大事であるため、地元の自然や歴史にふれる機会(特に提灯祭り)を多く提供することが必要ではないか。また、移住者等のよそ者を排除せず、地元の行事に積極的に誘うことも必要ではないか。 ・首都圏からの移住者が教育環境を気にすると考えられるため、難しいとは思いますが、中高一貫の私立学校の誘致による教育環境の充実を図ってはどうか。 ・情報発信はしているものの、伝わっていない面も多いのではないかと感じる。戦略的な情報発信が必要ではないか。 ・地域のつながりをつくるため、白河ボランティア会員(小峰城・南湖公園清掃、各種イベントボランティアなど)を募集してはどうか。

	委員意見
全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> ・産業をはじめとするあらゆる分野にデジタル技術を積極的に活用していく(DX)視点が必要ではないか。 ・人手不足が続くことから、組織横断による、移住推進施策と産業人材確保施策を連動させた施策を検討してはどうか。 ・今後高齢者が増えていくことから、元気な高齢者を活用する視点が必要ではないか。 ・コロナ禍で制限が多い中、デジタル化の視点を取り入れた地域を目指してはどうか。